

## 災害ボランティア活動報告

人文学類1年 竹森大貴

今回私は台風19号により被災した長野県長野市にて11月6日(水)から11月10日(日)までの5日間災害ボランティア活動に参加しました。以下に各日のボランティアの内容を記しますので、これをもって活動報告と致します。

### 11月6日(水) 活動1日目

本日の活動時間は8:00~15:00。活動場所は長野市赤沼。活動内容は個人宅の壁を剥がし土嚢袋に詰める作業が主だった。活動時間が15:00までと決められているため家の中の全ての壁を剥がすことはできなかったが、四人一組での活動だったこともあり八割方剥がすことはできた。

### 11月7日(木) 活動2日目

本日の活動時間は8:00~15:00。活動場所は昨日と同じく長野市赤沼で、活動内容は個人宅の床下とリンゴ畑の泥のかき出し。床下、リンゴ畑ともに5cmほど泥が堆積しており、スコップや手でそれらを取り除いて土嚢袋に詰める作業を行った。この地区はどの家でも土嚢が山のように積み上げられており、この土嚢の処理も今後の課題の一つであると感じた。

### 11月8日(金) 活動3日目

本日の活動時間は8:00~15:00。活動場所は堤防決壊地点付近の長野市長沼。作業内容はリンゴ農園の片付け。農園内の大小の災害ゴミを集めて分別した。周辺は未だ泥が堆積してかなりの異臭を放っており、おびただしい数の瓦礫等が流れ着いていた。中には神社の鳥居の一部と思しきものや農業用機械なども見受けられた。

### 11月9日(土) 活動4日目

本日の活動時間は8:00~15:00。活動場所は長野市赤沼北部。作業内容は午前中個人宅の脇に堆積した土砂の撤去、午後は地区内の側溝に溜まった泥の掻き出しを行った。地区全体に巡らされた側溝にはかなり泥が溜まっており1日ではほんの一部分しか撤去できなかったため、今後も作業を継続する必要があるようだ。

### 11月10日(日) 活動5日目

本日の活動時間は8:00~15:30。活動場所は長野市赤沼。作業内容は個人宅の庭の泥出しだった。台風から3週間経っていることもあり、積もった泥の上に雑草が生えるなどして泥の撤去は多少難しくなっているが、今日一日でかなり作業は進んだと思う。地元の方々は3週間ずっと片付けに追われているわけその苦労は大変なものであろうから、また時間があれば再度ボランティアに参加したいと思う。

## 総括

今回は地元が被災したということで初めてボランティアに参加したが、被害は想像以上

に酷いものだった。特に堤防決壊点近くの地域は一帯が信州りんごの一大産地のため、農業被害は相当なものになると思われる。ボランティア活動に参加した地区のリンゴ農家は皆被害を受けており、実が落ちる、木が折れるなどして農園は見るも無残な姿だった。ただ一番の痛手は農業用機械が浸水し使えなくなったことだという。特に被害の大きい長沼地区や赤沼地区は農家の高齢化が進んでおり、新たに機械を揃えるのは経済的に厳しいため廃業するほかないという方もいるそうだ。そういった生々しい話を各所で聞き、非常に胸が痛んだ。

ボランティア活動は連日多くの方が参加し、特に平日は東京をはじめ県外の方々が非常に多く参加してくれた。長野県民として本当にありがたく思う。しかしそれでもまだ人手が足りていないのが実際に活動する中で痛感した現実である。ボランティアは、言い方は悪いが行った日だけ活動すればよく参加するか否かは自由に選択できるが、地元の方々は毎日毎日避難先から自宅に行って片付けに追われている。被災者に選択の余地はなく、そんな生活がもう一ヶ月も続いているのだ。その苦労は本当に大変なものであろうから、少しでも多くの人にボランティアに参加してほしいし、私も時間があれば再度ボランティアに行きたいと思う。今回大学の方でこのような配慮をして頂けたのはありがたいことで、大学生がボランティアに行くというのは社会勉強にもなるため多くの方がこの機会を利用していただければ嬉しい。近年は災害が頻発しボランティアのニーズも高まっているため、今回の筑波大学のような措置が他大学でも取られれば更に多くの学生が参加してくれるのではないかと思う。また今回一緒に活動した方々のほとんどが有給休暇を取得してきて下さっていた。今後ボランティア休暇の設置など、災害等の際に柔軟な対応を取れる会社が触れれば良いと思う。

今回のボランティア活動を通して、実際に行ってみなければ分からない被災地の苦労やニーズ、そして人々の温かさなど本当に多くのものを得ることができた。様々なことを考えさせられる有意義な活動であった。

\*活動現場は写真撮影が禁止されていたため現地の写真はありますが、実家近くの写真を何枚か添付します。



